

財団法人 8020 推進財団

平成 21 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：在宅要介護高齢者口腔内実態調査

2. 申請者名：社団法人 台東区浅草歯科医師会 中村 勝

3. 実施組織：社団法人 台東区浅草歯科医師会、社団法人 台東区歯科医師会
日本歯科大学 口腔介護・リハビリテーション

4. 事業の概要：

今後在宅要介護高齢者が増加すると予想される中、口腔内の健康が全身の健康およびQOLに及ぼす影響は甚大なるものと予想されます。そこで、要介護度が高く、容易に歯科医療を受けることのできない在宅要介護高齢者の口腔内の実態を把握し、対象として一般的な特別養護老人ホームの利用者と比較した。

5. 事業の内容：

東京都台東区に在住する在宅で療養中の要介護高齢者 53 名（平均年齢 80.5±10.8 歳）男性 21 名、女性 32 名を対象とし、歯科医師 1 名、歯科衛生士 1 名が居宅に訪問し口腔ケアアセスメント票に基づき、口腔の評価を行った。

さらに対象群として区内特別養護老人ホーム 3 か所に入所する 167 名を合わせて調査した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

在宅要介護高齢者において、治療の緊急性のあるう蝕や歯周病の存在のある者が多く、歯科治療を必要とするものが多かった。

さらに、開口の保持や含嗽の不可能な者が多く、歯科治療や口腔ケアを行う上において、リスクの高い者が多いことが明らかとなった。また口腔機能においても、口腔内の衛生状態においても、重度または管理がされていない者が多かった。また座位保持や含嗽といったリスク面からも高い者が多かった。

在宅訪問診療において口腔機能の知識が必要であることが示され、また多種の全身疾患を抱える者も多く、今後安全に訪問歯科診療を行うためには、その対策が不可欠であると考えられた。